

埼玉県立常盤高等学校（看護）

※5年指定

～5年一貫教育の特徴を生かした、看護専門職者を育成するための先進的なプログラム開発～「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」を兼ね備え、生涯に渡って看護を追求し続ける専門職の育成を目標として、自ら課題を発見し解決する力を養うための継続的な「プロジェクト学習」、キャリアビジョンを描く力を養う「ポートフォリオの活用」に取り組んでいます。

（担当教科調査官コメント）

学ぶ力の確かな育成のため、育てたい力の評価法を開発するとともに、生徒の自己評価や振り返りを重視し、専攻科を含む5年間の生徒の変容を評価する「SPHで身に付く力～実習ルーブリック～」を作成しています。



福岡県立福岡農業高等学校（農業）

※5年指定

本科と専攻科の継続した教育プログラムの中で、「都市園芸に関する専門的な技能と経営感覚を身に付けたアグリスペシャリストの育成」を目指しています。「フロンティア学習」「マネジメント学習」「スキルアップ学習」の3つの研究を立ち上げ、地域産業に貢献できる人材を育成するため、大学や企業など関係機関と連携した栽培に関する先端技術の活用と、現場実習や現地視察から自立した農業経営に必要な実践的な経営感覚を身に付けています。

（担当教科調査官コメント）

特徴は、本科と専攻科で取り組む都市型農業教育プログラムの開発。特に、専攻科の学生がTA(Teaching Assistantの略)として本科生徒の実技指導を行うことでスキルアップし、学会発表等に取り組む態度の変容にも相乗効果が見られた。



平成30年度

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 成果発表会



○会場

文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂
(東京都千代田区霞が関3-2-2)

○参加申込方法

都道府県・政令指定都市教育委員会等関係者や学校関係者、教員等を参加対象者とさせていただきます。事前申込制となっておりますので、開催案内の出席者登録票に必要事項を御記入の上、平成31年1月11日(金)までにメールにてお申込みください(会場規模の関係上、人数を調整させていただく場合があります)。



（お問合せ先）文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL：03-5253-4111（内線2384） MAIL：sansin@mext.go.jp

日時：平成31年2月4日（月）10：00～16：30

※9：30から受付

会場：文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校においては、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組と実践研究が行われています。指定校の優れた教育実践とその成果を普及することで、専門高校全体の活性化を目指しています。

福岡県立香椎高等学校（家庭）

「English for fashion students」で会話力を育み、「郷土の伝統工芸に触れる実習や体験活動」で自分なりのものさしを持ち、「世界のファッション文化を学ぶ海外研修」を経て、企業等との協働による「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」など、産業界や大学等との連携・協働により、グローバル社会や地方創生に対応する産学接続型教育プログラムを開発し、世界の第一線で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

〈右の写真は、地元企業(写真中央)の制服のデザイン・製作を行った様子〉
(担当教科調査官コメント)

他教科等との連携を模索し、教育課程を工夫して学校全体で専門学科に最適な教育プログラムを検討し取り組んでいる点に注目してください。その成果は生徒の様子をみれば一目瞭然！生徒の変容には目を見張るものがあります。



長野県諏訪実業高等学校（家庭・商業）

主体的に地域の課題を発見し、地域と協働して解決に取り組み、グローバルに発信することができる、「文化ビジネスエキスパート」の育成を目指しています。伝統的文化・産業をビジネスと結びつける方策を提案できる「コーディネーター力」、新たな商品やビジネスを創造し提供できる「ディベロッパー力」、コンセプトを提案し地域産業や地域社会と協働して取りくむことができる「プロデューサー力」を身に付けるための学習プログラムの研究開発を行っています。

(担当視学官コメント)

学校設定科目「文化ビジネス」「文化ビジネス研究」を商業と家庭に関する各学科の生徒が共通に履修することなどにより、地域の魅力を世界に発信し地域を創造する人材の育成に取り組んでいます。



兵庫県立神戸商業高等学校（商業）

高校生が自らの力で輸出入商品の販路を開拓する体験等を通して、地元神戸を愛し、国際舞台で先導的に活躍できる貿易のスペシャリスト「貿易人KOBÉ」を養成することを目指して、貿易力、行動力、英語交渉力、販路開拓力、地域協働力の5つのキー・コンピテンシーを掲げ、研究活動に取り組んでいます。「貿易実務」などの学校設定科目を通じて、地域のローカルな課題について、探究活動を行い、さらに海外スタディツアーでの販売実習や英語プレゼンテーションの実践により、「貿易人KOBÉ」としての素養を身に付けることができました。

(担当視学官コメント)

1年生では就業意識の向上やビジネスマナー、2年生ではスタディツアーによる実際のビジネスや異文化の理解、3年生では貿易実務の習得など、貿易人を育成するための体系的・系統的な教育活動を行っています。



京都府立京都すばる高等学校（情報）

「産官学連携による情報セキュリティ人材育成」を研究開発課題とし、「高い情報技術・倫理観を持った」「社会貢献できる」「主体的・自発的に学習に取り組める」人材育成のため、教育課程を大きく変更した上で、AIプログラミング競技会や情報セキュリティ競技会、京都府警察サイバー犯罪対策課と連携した高校生による小学校への情報モラル出前授業、Web会議を用いての他校と連携した課題研究など様々な取組を行っています。

(担当教科調査官コメント)

高い情報技術を持つ者は、それにふさわしい高い倫理観を持たなければならない。「産官学連携による情報セキュリティ人材育成」では、この実現を目指して、評価や指導も含めてさまざまなことに実践的に取り組んでいます。



岐阜県立岐阜工業高等学校（工業）

岐阜県の成長・雇用戦略に位置付けられている「航空宇宙産業」技術者育成プログラムの開発や、感情認識機能を有するロボットアプリケーションプログラムの開発により、「情報通信産業」を担う技術者の育成に取り組んでいます。また、プロジェクションマッピングなどのグラフィック技術等により、ものの仕組みを総合的に捉え、新たな価値を創造する取組を通して、社会に変化をもたらすイノベーションの推進に資する人材の育成を目指しています。

(担当教科調査官コメント)

県の施策として位置付けた今後の成長産業を担う人材を育成するとともに、県内産業の活性化を支えるものづくりの基盤を担う技術者を育成することを目指した実践的な教育プログラムの開発を行っています。



愛媛県立今治工業高等学校（工業）

日本最大の海事都市今治において、地学地就をキーワードに、海事産業を担う次世代のスペシャリスト育成を目指して、地元の造船会社や船用工業等と連携した船舶に関する確かな知識・実践的な技能を身に付ける取組とともに、大学や研究機関等と連携した高度な技術を身に付ける取組を行っています。

(担当教科調査官コメント)

関係省庁や産業界などで構成されている造船教育推進委員会の設置により、教育活動をバックアップする体制が構築され、船づくりを通して課題を解決する力などを育成することを目指した人材育成プログラムの開発を行っています。



愛知県立三谷水産高等学校（水産）

県内唯一の水産高校として、水産業の新たな可能性を見付け、地元水産業の発展に貢献できるよう、地域企業・自治体・大学等と連携しながら「アワビの完全閉鎖式陸上養殖」「マルチコプターによる水質リモートセンシング」「ニホンウナギの人工ふ化」「水中ロボットを活用した海洋調査」等、様々な研究に取り組んでいます。SPH事業を通じ、生徒は自ら考えて積極的かつ丁寧に取り組む態度が身に付くとともに、専門分野への学習意欲や進路意識の向上が見られました。

(担当教科調査官コメント)

グローバルな視点で地域課題を解決する狙いの元、充実した産学官の連携体制が特徴で、企業から求められる人材育成に高い効果を上げております。ウナギの資源保護と完全養殖化に向けた研究では人工ふ化にも成功しました。



秋田県立大曲農業高等学校（農業）

将来の地域農業を見据えた農業教育の改善を一層推進するために、農業の付加価値を生み出すサービスとブランディングを創り出す人材や地域の産業を結び付け6次産業を生み出す人材の育成、また、豊かな農山村資源をグリーンツーリズムなどと結び付け、その活性化のために活躍できる人材の育成に向けて、4つ（アグリビジネス学習・イノベーション学習・高スキルアップ学習・組織的マネジメント学習）の人材育成プログラムの研究開発に取り組んでいます。

(担当教科調査官コメント)

特徴は、実践的技術・技能・経営力を身に付ける4つのプログラムの開発とその検証。3年間の事業推進と学科改編等を同時に進め、新生「DAINO」の新たな歴史を歩む方向性につながる取り組みに注目ください。



群馬県立勢多農林高等学校（農業）

地方創生や農産物の輸出等に果敢に挑戦しようとする将来のスペシャリストを目指して、生涯にわたって自ら考え課題を解決していく力や主体的に行動できる力（課題解決実践力）を身に付けるため、「学習指導法等の研究」「地域連携の研究」「キャリア教育の研究」の三つの分野の研究に取り組んでいます。

(担当教科調査官コメント)

特徴は、地方創生や成長産業としての農業を担うための資質・能力の育成を目指したプロジェクト学習の指導法の研究。主体的・協働的な学習活動の展開や課題解決実践力を身に付ける地域資源を活用した活動に注目ください。



熊本県立南稜高等学校（農業）

地域の基幹産業である「農業」を食料生産の分野だけに留めず、教育・福祉・生活等、あらゆる分野と融合した新総合産業分野を創造し、地域の創生へ寄与できる豊かな創造力と技術を持った人材「地域を担う生命総合産業クリエイター」の育成に取り組んでいます。

(担当教科調査官コメント)

特徴は、農業を生命総合産業として捉え、南稜就農塾をはじめ15の地域創生へ向けたプロジェクトを実施。生徒の変容を南稜版学習到達度評価方法で検証しながら研究を進めてきたプログラム開発に注目ください。

